国立民族学博物館春季特別展「千家十職・みんばく
茶の湯のものづくりと世界のわざ」

<table>
<thead>
<tr>
<th>著者</th>
<th>八杉 佳穂</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>雑誌名</td>
<td>起風</td>
</tr>
<tr>
<td>巻</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>号</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>ページ</td>
<td>36-38</td>
</tr>
<tr>
<td>発行年</td>
<td>2009年4月15日</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://hdl.handle.net/10502/4613">http://hdl.handle.net/10502/4613</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
三月十二日から六月二日まで、千里万博公園にある国立民族学博物館（通称民博）で、「千家十職×みんな…茶の湯のものはづくりと世界のわざ」展を開催しています。この展覧会は、千家十職の方々にお話ししました。千家十職の方々も同じかったようですね。信じられない民博は創立以来、三十有余年経ちます。その間に世界の諸民族が生活のために作りだしてきたものを二十万点ほど収集してきました。それは世界の民族や文化を説明するために必要と考えてきなかったからです。その豊かな資料を研究だけでなく、創作のためにも活用してまいりました。それまでの資料を見ていただいて、そこに新しい作品を制作してもらうことを中心に考えたものです。

千家十職は三百年前から四百年を超す歴史を持ち、当一代で、十一代から十七代を数えます。「一つめのコーヒー」では、その長い歴史と伝統を現代の逸品を展示することで表わすことにしました。茶の湯という日本の伝統文化で揃え上げられた目と手が、民博の所蔵品に出合うことのようなり選び、
新しいものを作るのですか。それが三つめのコー
ナーです。出番のないまま収蔵庫に眠っている資料を
揺り起こして、創作するために、十職の方々は何度も何
度も収蔵庫に通いました。そしてモノたちに触発され
なりました。民博にない資料を作りました。ひらめきの源に
なった民族資料と、そこから生まれた作品が、職家さ
 يناが気に入って選んだものとともに展示されています
品のほとんども手仕事です。そこで手の動きを利用に
して異なります。目の前にあるもののなかから何かを選ぶ
とき、その基準は人によってさまざまです。世界中か
ら集まった民博にある資料の中から十職の方々が選ん
だ資料には、これまでの西洋中心的な美の基準から見
ると、美しくないものがあるかもしれませんが。でも
じっくり見ると、それぞれが何かを語っているようで
す。それは彼らの魂に語りかけたからには違いないま
せん。だから選ばれたのでしょうか。美とは何か、用とは
何かを問いかけ、創造の源泉が民博にもあることを示
す新しい試みです。

民博の展示場は、一階と二階にわかれています。一
階では、千家十職がこれまで作ってきた作品ともに、
展示です。
千家十職の仕事は、釜師、茶碗師、袋師などの名前が示すように、家ごとに決まっています。そして利休好みや家好きの型や寸法を伝えている、いつでも必要な道具、家元及び十職の関係で、王家を含む様々な面を持つます。それをミャンマーバンセミョと比較することで示しました。バンセミョの花十種とは、漆器、工芸やろうろ工芸、錦絨などの伝統工芸を伝承する、「いわばミャンマーの十職です。この人たちは、共同で何かを作ったり、作品を持ち寄ってひとつのまとまった作品に上げるこないようですが。千家十職は、共同でひとつのものを作ったり、茶箱のように、それぞれの作品を合わせてひとつにすることがあります。これも大きな特徴です。

今回の展示に合わせ、民博の正面にある日本民芸館では、「茶と美—柳宗悦・茶を考える—展を開いています。また日本庭園内では、特別記念お茶会が開かれます。お得な共通券もありますので、ぜひお越しください。

会場
国立民族学博物館特別展示館

休館日
毎週火曜日（4月29日・5月6日は開館）

開館時間
午後10時より午後5時まで

入館料
一般：600円（300円）
高校・大学生：500円（300円）
中学生：500円（300円）

連絡先
大阪府吹田市千里万博公園10-1
武者小路千家担当…5月9日（土）・10日（日）

特別記念お茶会

会場
万博会記念公園の日本庭園内茶室「廻廊」

詳細はHP、情報部発信
HP：http://www.minpaku.ac.jp/special/santa/

一般：800円
高校・大学生…500円
小・中学生…200円

※常設展示（小・中学生及び高校生無料）

5月5日（火祝）は無料観覧日。自然公園の

お知らせ

【已定】